

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年9月30日

【観測結果（調査日：9月25、26、27日）】

9月25日に伊勢湾北部、26日に渥美外海、27日に伊勢湾南部の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P1～A10）】

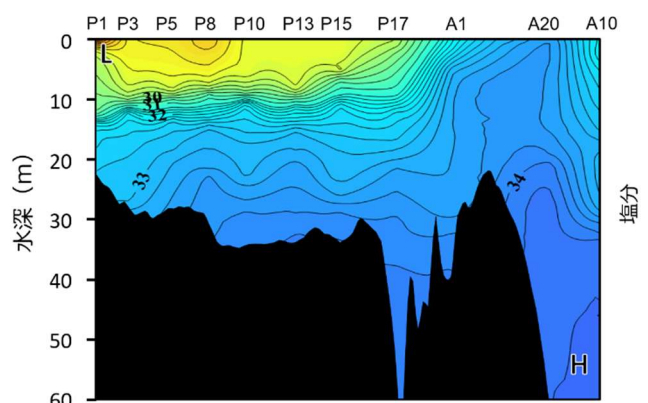
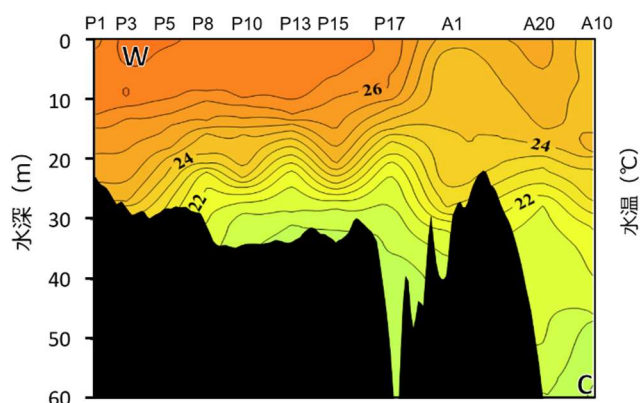
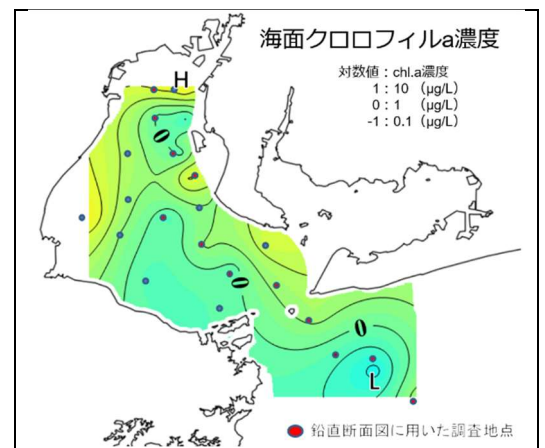
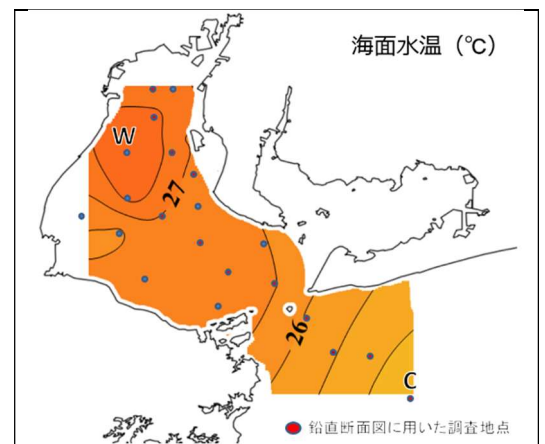
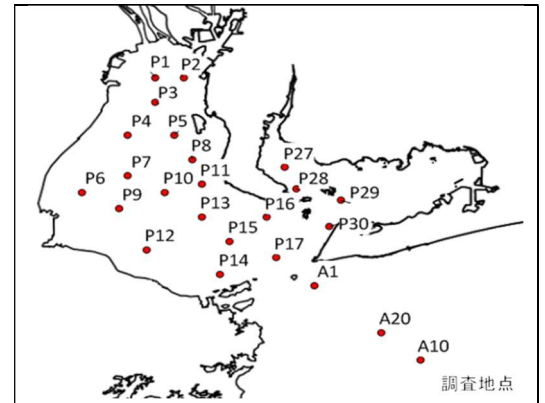
海面水温は、依然として高水温傾向ではあるものの、9月上旬の観測結果と比べて最高水温は約2℃低下しています。

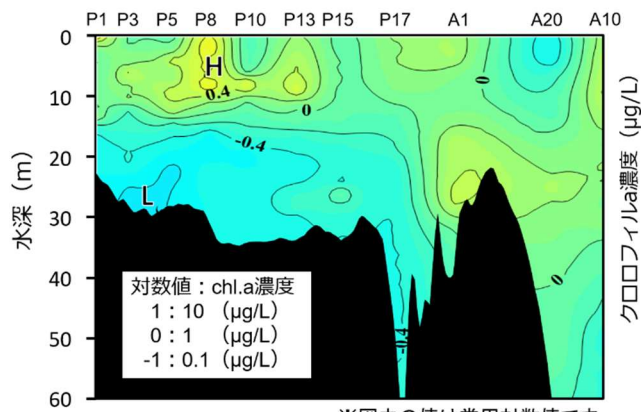
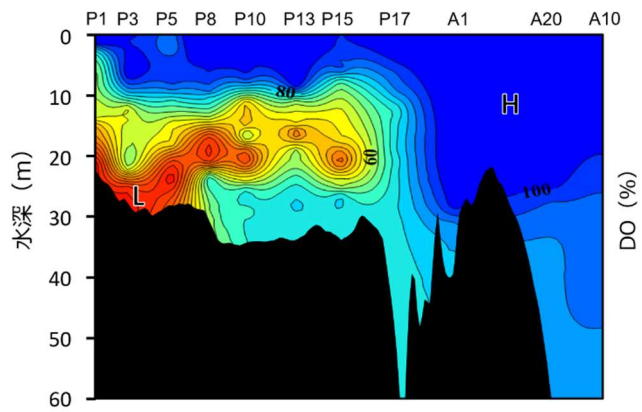
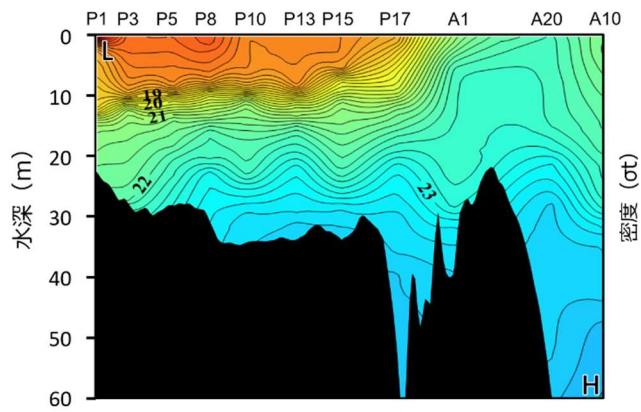
海面クロロフィルa濃度は、伊勢湾の南部三重県側を除いた岸よりで高くなっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾の表層は、日射の影響は弱まりましたが、高水温かつ低塩分の軽い水が継続して分布しています。そのため、成層状態が維持され、湾奥～湾央（P3～P13）の水深20m以下付近で貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）がみられます。一方で、湾央の貧酸素水塊は、外海水が底層に進入した影響で持ち上がり、水深20m付近の溶存酸素濃度が低く、海底付近は高くなっています。

渥美外海では、底層の低水温かつ高塩分の重たい水が持ち上がる湧昇がみられます。底層の水は栄養に富んでおり、この水が内湾へ運ばれたことから今後内湾でクロロフィルa濃度の増加が予想されます。





※図中の値は常用対数値です